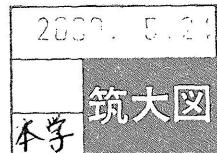


筑波社会科研究

第15号



【研究論文】

- 那珂川における水辺の観光レクリエーション利用 吉村 夕紅 (1)
 —地理教育における水の教材化の一視点— 吉村 夕紅 (1)
 地理の学習目標としてのメンタルマップ 小林 岳人 (11)
 歴史教育における戦争学習と民衆の抵抗の取り扱い 塚本 徹 (21)

【研究ノート】

- 社会(公民)科における法教育の課題
 —「権威」の単元の分析とその応用について— 江口 勇治・木村 哲也 (31)
 台湾における社会科教育 井田 仁康 (41)

【研究会報告】

- 第14回研究大会報告 (49)
 6月例会 (53)
 11月例会 (56)

【学会彙報】

- 1995年度学会活動報告 (58)
 教育研究科1994年度修了生 修士論文一覧 (59)

筑波大学社会科教育学会

1996

筑波大学社会科教育学会会則

- 第 1 条（名 称） 本会は筑波大学社会科教育学会と称する。
- 第 2 条（目 的） 本会は社会科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。
- 第 3 条（活 動） 本会は前条の目的を達成するために、次に活動を行う。
1. 研究会の開催 3. 資料の収集・交換
2. 機関誌の発行 4. その他必要と認められるもの
- 第 4 条（会 員） 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。
2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を収める者とする。
- 第 5 条（本 部） 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科教育学研究室におく。
- 第 6 条（役 員） 本会は次の役員をおく。
会長 1名 副会長 1名 評議員 若干名
幹事 若干名 会計監査 2名
2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
5. 役員の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。
- 第 7 条（役員の任務） 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
5. 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第 8 条（顧 問） 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 第 9 条（会 議） 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。
2. 総会は毎年1回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の招集によって重要な会務を審議する。
6. 幹事会は会長が招集する。
- 第 10 条（会 計） 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
2. 本会の会費は総会で定める。
3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 第 11 条（会則の改正） 会則の改正は、総会の議を経なければならない。
付 則 この会則は昭和57年2月11日から施行する。

1995（平成7）年度役員

会長 上 笹 恒（筑波大学哲学・思想学系）
副会長 谷川彰英（筑波大学教育学系）
評議員 朝倉隆太郎（豊田短期大学），飯島睦子（東京・今川中），石井透雄（茨城・鉢田農業高），石川裕之（長野・飯田高），岩崎宏之（筑波大学歴史人類学系），大森 正（東洋大学），梶 哲夫（早稲田大学），金子 巧（広島・舟入高），木村勝彦（上田女子短期大学），木村健一郎（創価大学），後藤忠司（兵庫・須磨反ヶ丘高），斎藤宏夫（栃木・上三川高），篠原昭雄（つくば国際大学），高山次嘉（新潟大学），竹下裕隆（愛知・豊田高），田村和浩（茨城・土浦第一高），溜池善裕（秋田大学），長瀬 守（豊田短期大学），二谷貞夫（上越教育大学），平岡可奈之（神奈川・桐蔭学園），藤沢 健（岩手・岩手高），古山良平（東京学芸大学附属高），別府淳夫（つくば国際大学），松岡尚敏（鹿児島女子短期大学），松本 康（香川大学），宮崎正勝（北海道教育大学），三浦軍三（東京学芸大学），森茂岳雄（東京学芸大学），横山十四男（東京家政学院大学）
会計監査 高野尚好（筑波大学学校教育部），三野輪敦（茨城・茗溪学園中・高）
幹事 伊藤純郎（筑波大学・歴史人類学系），井門正美（筑波大学大学院），内田邦彦（東京・穎明館中・高），江口勇治（筑波大学教育学系），唐木清志（静岡大学），川崎誠司（筑波大学大学院），小森正明（宮内庁），竹中大剛（厚生省），田中通彦（筑波大学歴史・人類学系），谷川彰英，田村真広（北海道教育大学），塚原直人（東京・秋川高等），永野広務（神奈川・西浜高），菱山謙二（筑波大学社会科学系），藤井千春（茨城大学），保坂秀夫（埼玉純真女子短期大学），真柴晶彦（東京・南高），松本敏（宇都宮大学），谷田部玲生（お茶の水女子大学附属高），山本栄一（神奈川・厚木商業高），李 明熙（筑波大学大学院）

『筑波社会科研究』編集委員

井門正美，江口勇治，川崎誠司，桐谷正信，谷川彰英，外池 智，李 明熙

〈編集規定〉

- (1) 本誌は筑波大学社会科教育学会の機関誌であり、年一回発行する。
- (2) 本誌は本学会会員の研究論文、研究ノート、書評、研究会報告、学会報、その他会員の研究活動に関する記事を掲載する。
- (3) 本誌に論文その他を掲載しようとする会員は、所定の執筆要領に従い「編集委員会」宛に送付する。
- (4) 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定する。
- (5) 掲載予定の原稿について、編集委員会は執筆者との協議を通じ、内容に変更を求めることがある。
- (6) 本誌に掲載された論文その他は原則として返還しない。
- (7) 執筆者による校正は第一校までとし、再校以降は原則として編集委員会の責任において行う。

〈執筆要領〉

- (1) 論文原稿は未発表のものに限る。(ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。)
- (2) 編集委員会が特に枚数を指定する以外の原稿は、図・表などを含めて、原則として研究論文が400字詰原稿用紙40枚以内、研究ノートが30枚以内、実践報告が20枚以内、書評が5枚以内とする。
- (3) 原稿は、400字詰横書きとする。ワープロ原稿の場合、43字×31行又は40字×30行横書きとする。ワープロ原稿は、フロッピーディスクを付するものとする。
- (4) 原稿には、必ず英文タイトルを添付する。
- (5) 原稿には、氏名(フリガナ)、所属(職名その他を含む)、連絡先を付記し、筑波大学社会科教育学会「筑波社会科研究」編集委員会宛に送付するものとする。
- (6) 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担せざることがある。
- (7) 原稿〆切は毎年9月30日、発行は翌年2月11日とする。

筑波社会科研究 第15号

1996年2月10日 印刷・発行
編 集 「筑波社会科研究」編集委員会
代表者 谷川彰英
発 行 筑波大学社会科教育学会
会長 上 笹 恒
事務局 茨城県つくば天王台1-1-1(〒305)
筑波大学教育学系 社会科教育学研究室
TEL 0298-53-6729~31
振替 宇都宮5-7442
印 刷 (有)甲文堂
東京都文京区大塚1-4-7(〒112)
TEL 03-3947-0844/FAX 03-3947-0858

TSUKUBA ANNALS
FOR
SOCIAL STUDIES EDUCATION
No.15 1996

CONTENTS

Articles

- The Use of Naka River for Sightseeing and Recreation
:A Study on " Water" as a Subject Matter in Geography Education Yuki YOSHIMURA...(1)
- Mental Maps : Purpose of Geography Studies Taketo KOBAYASHI...(11)
- How to deal with Wars and People's Resistances in Teaching History Toru TSUKAMOTO...(21)

Research Notes

- Effective Law-Related Education Curriculum for Social Studies:
An Analysis of Units on 'Authority' and their Application to Japanese
Social Studies Yuji EGUCHI, Tetuya KIMURA...(31)
- Social Studies in Taiwan Yoshiyasu IDA...(41)

Research Conferences

Academic News

- Academic Activities of the Association for the Social Studies Education
in 1995 (49)
- Titles of Master Theses Submitted by Graduate Students of the Social
Studies Course, Master's Program of Education in 1994 (58)

**THE ASSOCIATION FOR SOCIAL STUDIES EDUCATION
UNIVERSITY OF TSUKUBA**